

巻頭言

大事な出会い

副教育長 宮 沢 新 樹

人生は「出会い」と「別れ」のドラマ
だから人は触れ合いを求める
人に優しくなれる
移ろう四季の中で
どれだけの「出会い」と「別れ」があるのだろう
私の胸に
「出会い」が奏でる心ときめきが
また 生まれた

これは、かつて市を紹介するPR冊子を編集した時、若い女性モデルが街を散策するイメージ写真の一枚に私が付けたキャッチコピーである。

人生には、様々な「出会い」がある。特に青少年期における「出会い」がその後の人生に大きな影響を与えた、という話はよく聞く。例えば、先生や友人との出会い、一冊の本との出会い、絵画や音楽など芸術との出会い、関心を持った出来事との出会い、などである。

本市出身の宇宙飛行士・若田光一さんも、小学生の時にアメリカのアポロ計画による宇宙船に出会ったことで、宇宙への興味を持ち続け、宇宙飛行士への夢を実現させた。

作家・立原正秋氏の言葉に「人は誰でも、その生涯でいくどか大事な出会いをするはずである」とある。（立原正秋「旅のなか」角川文庫）

少子高齢化・国際化・IT化等、社会環境が激変する今日であっても、それぞれの子どもたちが、日々の学校生活の中で、その後の人生に良い影響を与える先生や先輩、クラスメートなどとの「大事な出会い」をすることを願ってやまない。